

樋口一葉の人生鳥瞰図

人生テーマ

- ・与謝野晶子と同年に生まれる
- ・肺結核で24歳の若さで亡くなる
- ・母親に勉強を反対される

生き立ち

出会い 出来事

- ・小説が儲かると知り、家族の生活を支えるために小説を書く決心をする
- ・一葉15才で長兄死去
- ・一葉17才で父死去

- ・朝日新聞の半井桃水に師事する

価値観

- ・高い志を持っている
- ・自分のことより親や兄弟のために頑張っていた。

- ・努力家
- ・家族想いの女性
- ・恥ずかしがり屋
- ・責任感がある

性格

関心

能力

- ・小説
- ・和歌

- ・擬古文による最後の作家。
- ・森鷗外や、正岡子規も評価している。

仕事

- ・家族の支えのために小説を書く
- ・小説家

ライフデザイン

- ・24歳で引退(亡くなる。)
- ・擬古文による最後の作家

- ・本をよく読んでいた
- ・擬古文による小説
- ・15才からなくなるまで日記を書いていた

キャリア開発

学習暦

仕事暦

経験暦

- ・樋口一葉の出世作、「闇桜」と、「うもれ木」が「武蔵野」と「都の花」に載る

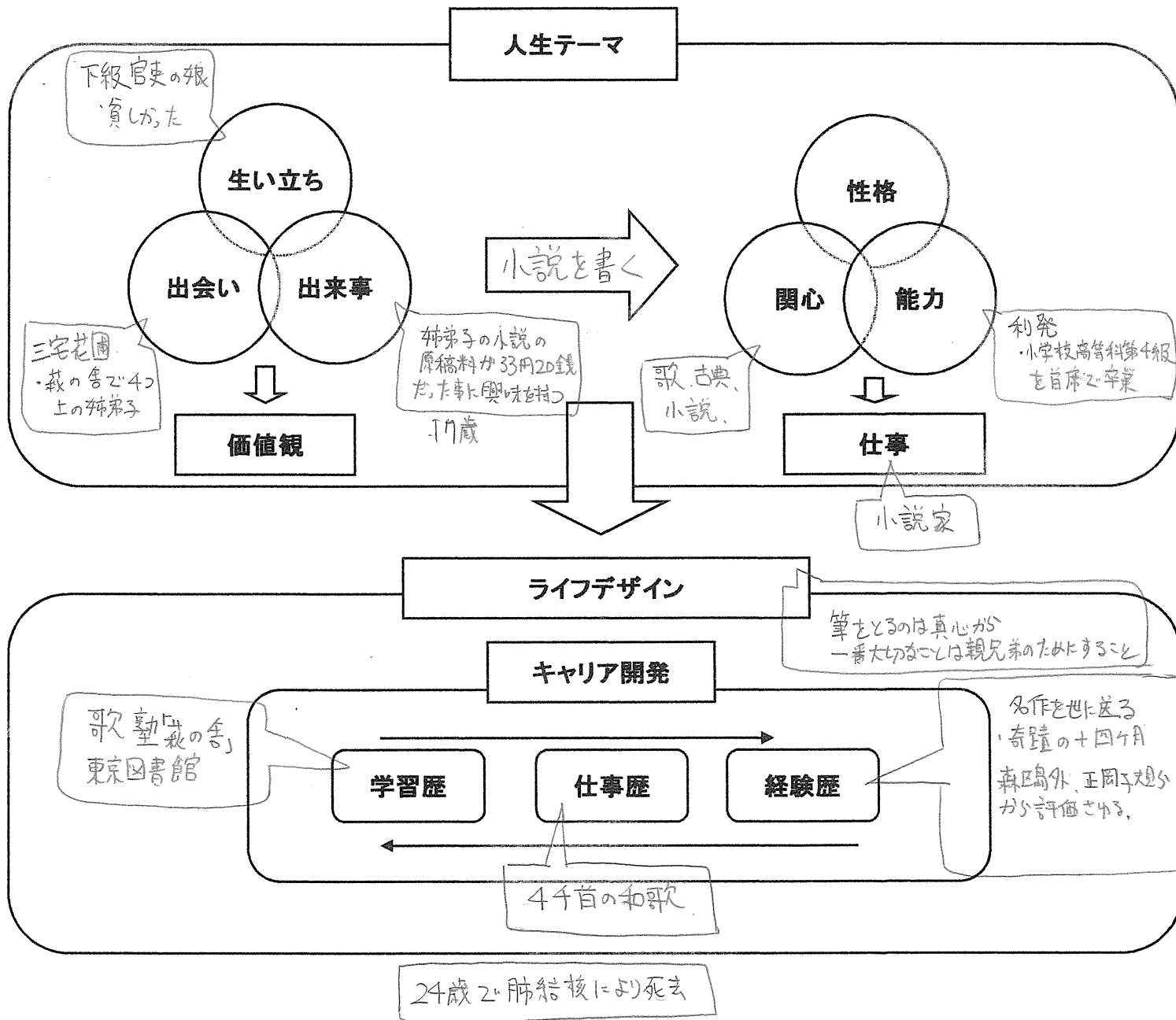
現在の5000円札の肖像として登場

- ・「たけくらべ」を書く
- ・「にごりえ」を書く
- ・「十三夜」を書く

- ・「わかれ道」を書く
- ・「大つごもり」を書く

過去の5000円札の肖像として新渡戸稲造がいる

人生鳥瞰図



マネジメントデザインII レポート②

樋口一葉の人生鳥瞰図

20621055 菅原 康人

- ・小学校を退学して死す。
- ・父の事業が失敗し、貧困に。
- ・歌塾「秋の会」へ入門
- ・上流階級の姉弟子たちにも嫉妬、内向的になる。

全い立ち

出会い 出来事

価値感

- ・良い小説を書きたい
- ・貧困から抜け出したい
- ・弱者の声を伝えたい。

- ・婚約破棄
- ・精一杯書いたものが新聞小説に合わない
- ||
- ・お金に苦しみ

- 小説の師 半井桃水
- 歌の師 中島歌子
- 文学界の中心
- 隣家の酌婦

性格

関心

能力

仕事

和歌から小説へ

- ・ただお金のために書いてる、出版会社の注文とおりに書くことかたててない
- ・孤独な写作者
- ・女であることの懐疑

- ・小説の創作
- ・新しい文学の潮流、外国文学
- ・下層社会の女性

- ・人間の真実、あつそのままを描ける。

ライフデザイン

キャリア開発

学習歴

仕事歴

経歴

- 歌
- 小説
- 外国文学
- 新しい文学の流転

小説を書く目的はお金より自分が何を書かへせかにかわっていく。

- ・失恋
- ・事業の失敗
- ・社会の底辺の世界を経験

- ・にこりえ
- ・たけくらべ
- ・やみ夜

菅原 康人